

バイオ・情報メディア研究科の科目編成

ー2020 年度入学生カリキュラムー

<博士前期（修士）課程>

カリキュラム体系

博士前期（修士）課程のカリキュラムは、基礎科目（アントレプレナー専攻）、専門科目、ジェネリックスキル科目および研究・プロジェクト科目の科目群から構成されています。

- ・基礎科目

アントレプレナー専攻の学問分野を総括的に修得し、自らの専門分野を早期に方向づけることを目的としています。

- ・専門科目

課題研究やプロジェクトの遂行に必要となる科目で、4専攻で精選したものを配置し、専門分野をより深めることを目的としています。

- ・ジェネリックスキル科目

博士前期（修士）学生としてのキャリア開発に関する科目や実際に社会の第一線に赴き現場体験を通じて将来のキャリアビジョンを育成するとともに社会体験値を向上してもらうことを意図した科目があります。

- ・研究・プロジェクト科目

それぞれの研究領域に対して実際の教育・研究活動を実践する枠組みとして設けられています。教員の指導のもと、自ら研究テーマを設定し、明確な目標のもとに研究推進計画を立案します。目標と計画に沿って研究や制作を遂行し、その成果を修士論文・作品としてまとめて発表します。

<博士後期課程>

カリキュラム体系

博士後期課程においては、単位制による授業は行いませんが、研究課題に関連する国内外の学術論文あるいは著書を教材として各教育研究領域の指導教員と学生による双方向的な対話と討論を中心とした「特別研究」を行います。学会における発表などを通じ、博士後期課程在学者として研究能力が的確に進捗しているか客観的なチェックを受けながら、問題発見能力および問題解決能力を高めていきます。

工学研究科の科目編成

ー2020年度入学生カリキュラムー

＜博士前期（修士）課程＞

カリキュラム体系

博士前期（修士）課程のカリキュラムは、総合科目、専門科目および研究・プロジェクト科目の科目群から構成されています。

・総合科目

サステイナブル工学系の科目及び研究リテラシー等を総合科目として配置します。この科目では、高度技術職業人として求められる表現能力と分析能力を磨き、職業的倫理観を涵養します。「学外研修プログラム」を設け、企業等での研究体験、就業体験や地域社会でのフィールドワーク、本学で実施している海外語学研修への参加を促すことで学問と実践を組み合わせた教育を行います。

・専門科目

実学としてのサステイナブル工学を行う者として必要な高い専門性と広い国際レベルの専門的な知識を涵養します。専門の軸足形成のための「特論」と、分野横断的に学ぶ「概論」で構成しています。

・研究・プロジェクト科目

総合科目、専門科目で学んだ知識を活用し、研究・プロジェクト科目では、教員の指導のもと、自ら研究テーマを設定し、明確な目標のもとにサステイナブル工学に関する研究活動を行います。最終的には、研究成果を修士論文としてまとめ発表します。

＜博士後期課程＞

カリキュラム体系

博士後期課程においては、単位制による授業は行いませんが、研究課題に関連する国内外の学術論文あるいは著書を教材として各教育研究領域の指導教員と学生による双方向的な対話と討論を中心とした「特別研究」を行います。学会における発表などを通じ、博士後期課程在学者として研究能力が的確に進捗しているか客観的なチェックを受けながら、問題発見能力および問題解決能力を高めていきます。

デザイン研究科の科目編成

ー2020年度入学生カリキュラムー

カリキュラム体系

(1) 基本概念

本研究科は学部でのスキル教育と感性教育とを基盤にし、デジタルテクノロジースキルの表現手法を活用しながら、より専門性の高い表現を実社会の問題解決となるデザイン提案として、研究成果を広く発信できる人材の育成を目指します。

カリキュラムポリシーは下記の通り。

- ① 現代の複雑で多様な社会問題に対して、先進性のあるデジタルスキルを使った実装を目指した研究を実行できる力を養う。
- ② デザインの分野で幅広く活躍できる、国際的な場でも十分に通用する高度なコミュニケーション能力を身につける。
- ③ 研究調査によって導いた提案を最新のデザイン情報や複数の教員、学生との横断的な学修によって研究を遂行するマネジメント能力を養う。
- ④ 論理的な思考をベースに、調査・分析・評価・検証によって実現可能性に裏付けられたプランニング能力を養う。
- ⑤ 実社会の課題に対して ICT を駆使した豊かな発想力と確かな造形力による問題解決力を養う。

(2) 授業科目の編成と履修

カリキュラムは専門科目と研究プロジェクト科目の科目群から構成されます。

・専門科目

デザインに必要な専門的な理論や方法を講義と演習によって段階的に学びます。

・研究プロジェクト科目

専門科目の学びをふまえて自らの研究テーマを意識したプロジェクト実習を行い、論文指導や英語でも発表できるための指導も含めた理論と実践に基づき研究を進めます。また研究テーマに応じた複数の担当教員との連携により進めます。